

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育実習指導Ⅱ又はⅢ					授業形態	講義		
科目コード	750131	単位数	1単位	配当学年	4年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	若宮 邦彦								
授業概要	<p>本授業では児童福祉施設等（保育所を除く）での各実習における意義と目的を理解し、保育について総合的な視点での学びを深める。保育実習ⅠB(施設)や各授業で学んだ内容及びその関連性を踏まえながら、総合的な保育実践力を培います。また、事前指導においてはゲスト講師による実践事例の講義を通じ、保育の観察・記録や自己評価を踏まえた保育の改善について理解を深める。</p>								
関連する科目	「保育内容総論」「社会的養護Ⅰ」「子ども家庭福祉」を事前に受講しておくことが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>主に実習施設や関連施設(保育所を除く児童福祉施設)の先生方を講師として招聘し、現場のリアルな実践・支援内容に関する講義をいただく。実習生としての基本姿勢や施設保育実践の概要、施設保育士の役割等を学ぶ。また、保育士の専門性と職業倫理についての理解を再考する機会にする。</p> <p>事後指導では、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題を明確化するとともに保育士の専門性と職業倫理について自らに引きつけて理解を深める。</p>								
授業計画 【第1回】	1. オリエンテーション。 保育実習ⅠBのふりかえり。施設実習の意義の再確認する。								
授業計画 【第2回】	2. 保育実習Ⅲ(施設)における課題・目標の設定をする。								
授業計画 【第3回】	3. 障がい児・者支援施設について。 障がい者総合支援法、児童福祉法の概要の理解。 法制度の概要と社会福祉専門職としての基本視点を学ぶ。								
授業計画 【第4回】	4. 障がい児支援施設における実践。 児童発達支援センター管理者による講義と質疑。児童発達支援センターの機能、 支援者の具体的な実践・役割について学ぶ。								
授業計画 【第5回】	5. 障がい者支援施設(就労支援・入所型等)における実践。 障がい者支援施設支援員による講義。障がい者支援の概要、具体的支援 内容について学ぶ。								
授業計画 【第6回】	6. 障がいをもつ保護者への支援。 当事者兼ピアサポート団体主宰による講義。								
授業計画 【第7回】	7. 乳児院の概要と実践。 施設保育士(卒業生)による乳児保育・ソーシャルワークの概要に関する講義。 施設保育士の専門性、具体的支援内容について学ぶ。								
授業計画 【第8回】	8. 児童養護施設における実践。 施設保育士(卒業生)による児童養護施設の概要ならびに支援の実際についての講義・演習。 現場における支援の実態を学ぶ。								
授業計画 【第9回】	9. 被虐待児等、特別な配慮を要する子どもへの支援。 児童養護施設心理担当職員(施設心理士)の実践と具体的支援について学ぶ。								
授業計画 【第10回】	10. 多職種連携の在り方について 児童養護施設指導員により関連機関とのケアマネジメントの実践について学ぶ。								
授業計画 【第11回】	11回 ファミリーソーシャルワーカーの役割と専門性。 乳児院・児童養護施設の家支援専門相談員の役割と具体的実践内容について学ぶ。								

授業計画 【第12回】	12回 セカンドステップ(コミュニケーションスキル) I 支援対象の児童に対する有効な援助関係形成のための理論・技術 について学ぶ。(理論編)
授業計画 【第13回】	13回 セカンドステップ(コミュニケーションスキル) II 支援対象の児童に対する有効な援助関係形成のための理論・技術 について学ぶ。(演習)
授業計画 【第14回】	14回 社会的養護の動向と課題。 実習に臨むための問題意識の整理を行い、求められる施設保育士 の専門性について学ぶ。
授業計画 【第15回】	15回 直前指導。 実習施設との事前オリエンテーションをふまえ、心構え、準備、 目標・課題等を再確認する。
授業の到達目標	1. 保育実習Ⅲ(施設)の意義・目的、及び実習の内容と具体的事項を理解する。【知識・理解の獲得】 2. 社会的養護における子どもの支援と保育者としての専門性を理解する。【知識・理解の獲得】 3. 子ども理解、実践の展開・評価・改善の一連のプロセスの理解を深める。【生涯学習力の育成】 4. 有効なコミュニケーション・スキル、子どもへの援助技術を高める。【コミュニケーションスキルの育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に次の授業内容(予習箇所)を提示する。次の授業までに確認し、施設実習に関する文献、先輩の実習日誌等を参考に30分 の予習をし、ゲスト講師が所属される施設の概要や機能についてホームページ等で確認する。
授業時間外の学修 【復習】	ゲスト講師による講義・演習のモニタリングを通じ各施設の機能・実習生に求められる役割・基本視点等について30分程度の復習をす ること。
課題に対する フィードバック	【施設実習】 レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲50点。 2) レポート35点。 3) ワークショップ等15点。
テキスト	「保育実習の手引き」(南九州大学) その他、適宜資料を配布します。
参考書	1. 保育実習日誌 2. 保育実習の手引き 3. 『施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習』(2,000+税)、駒井美智子他、萌文書林、2014
備考	熊本市要保護児童対策地域連絡協議会委員(若宮邦彦)